

平成20年10月16日

《よこしん》景気動向調査結果について
—平成20年7～9月期実績、10～12月期予想—

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤 寿臣）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査概要は以下のとおりです。

【業況判断D I】 前期より9.2ポイント悪化の-27.2

業況判断D Iは-27.2と、前期（-18.0）よりも9.2ポイント悪化し、7期連続の悪化となりました。業種別では、製造業が対前期で4.5ポイント悪化、非製造業も11.5ポイント悪化しました。来期（10～12期）の予想値は、-25.2と2.0ポイントの改善を予想していますが、依然として厳しい業況が続きそうです。

【その他主要D I】

<売上額 D I> -11.2（前期） から -20.6（今期） へ 9.4ポイント悪化
<収益 D I> -25.7（前期） から -33.4（今期） へ 7.7ポイント悪化
<在庫 D I> 7.1（前期） から 5.6（今期） へ 1.5ポイント過剰感緩和
<資金繰りD I> -17.7（前期） から -19.2（今期） へ 1.5ポイント悪化
<人手 D I> -6.9（前期） から -6.5（今期） へ 0.4ポイント不足感緩和

【特別調査：中小企業の環境問題への取組みについて】

環境問題に対する意識としては、「強く／やや意識している」が約6割、「特に／全く意識していない」が約4割となりました。環境問題への取組みにより期待する効果としては、「自社のイメージアップ」が最多で約4割の回答がありました。実施している取組みとしては、「エネルギー等の節約（節電・節水）」が約5.5割と際立っています。「特に取組んでいない」との回答は約2割となりました。環境問題に取り組むうえでの課題や問題点では、「費用負担が大きい」と「取り組むためのノウハウ・人材が不足」が4割前後と多くなっています。

<調査概要>

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）773先 有効回答数：756先

調査方法：各営業店職員による聞き取り調査 調査時期：平成20年9月上旬

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗